

# 広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場 総務課  
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)



田山 18  
田山 30  
田山 3  
田山 2

## 水道メーターの検針は 冬期間休みます

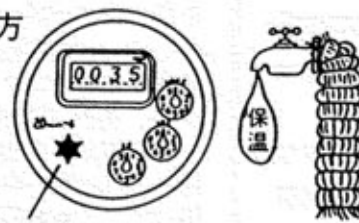
— 冬囲いや凍結防止にも万全を —

冬期間は降雪のため、水道メーターの検針ができませんので、休ませていただきます。この間の水道料金は、推定量で算定し、雪消え後の検針により過不足の精算をさせていただきます。

なお、冬期間は水道管が雪の重みや凍結などで破損し、漏水事故が多発します。水道管の修理や漏水の水道料は使用者の負担となり、春先の精算時に多額の水道料を払うこととなりますので、冬

冬期間は降雪のため、水道メーターの検針ができませんので、休ませていただきます。

### 漏水の見分け方



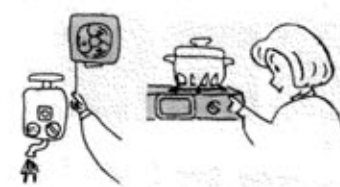
蛇口を全部閉めても、この風車がまわってれば、漏水があります。

## ガスの使用は正しく安全に!!

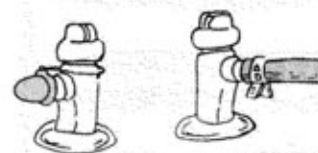
— 十一月はガス安全使用強調月間 —

### ◆重点項目◆

換気は 点火・消火 十分に! は確実に!



未使用ガス栓にキャップ! ゴム管はずれに注意!



身につけたいですね ガスの安全確認

## 事業主の皆さんへお願い

### 高齢化に配慮する定年制度・雇用延長

急速な高齢化社会に対応するため、昨年、「高齢者雇用安定法」が制定されました。

この法律では、①今後定年制度を定める場合には六十歳を下回らないように努めることと、②六十歳未満の定年制を実施している場合には、特別の事情のない限り速やかに六十歳以上の定年に引き上げるよう求められています。出生率の面からも今後、若年労働力は年々減少することが懸念され、労働力人口の高齢化が益々進むことが予想されます。

これからは、若い労働力と熟年の労働力の調和した人事構成と併せて、高齢者の雇用と就業対策が極めて重要な課題となってきました。この解決なくしては事業の継続発展も望めなくなる時代を迎えています。定年制度引上げの検討、雇用の延長等に、事業主の皆さんの積極的な取り組みをお願いします。

なお、高齢者の雇用と多数雇用事業主には、助成金や報奨金が支給されるなどの助成制度がありますので、定年制と雇用延長についてのご相談と合わせて公共職業安定所にご連絡下さい。 ☎八二四四二

### し尿のくみ取りは早目に

これから降雪期にむかい、し尿のくみ取りがピークに達します。早目をお願いします。

昭和62年11月1日現在
人口 6,516人
男 3,196人
女 3,320人
世帯数 1,505戸

町下水道事業スタート..... 2~3	狛江市の木「イチヨウ」を植樹..... 10
県のリゾート特定地域に指定される..... 4~5	川口郵便局新築移転..... 11
待ちに待ったバス運行が実現..... 6~7	スポーツコーナー..... 12~13
農業振興祭特集..... 8~9	お知らせコーナー..... 14~16

おもな内容

# 町下水道事 基本計画

けて、同事業の基本計画策定に着手するなど、昭和六十五年年度着工を目指し、議会と一体となって下水道事業をスタートさせました。

**低い下水道普及率**  
新潟県約十・六％  
全国平均は三十六％  
(六十二年現在)

県は、昭和四十六年に信濃川流域の水質汚濁に係る環境基準が設定されたことに伴い、昭和四十七年から信濃川水系を初めとした流域別下水道整備総合計画を策定し、下水道事業の推進に当たっています。現在(昭和六十二年三月)三十九の市町村が公共下水道を実施しています。このうち新潟市をはじめ十四市町村で処理を開始しておりますが、普及率は約十・六％と全国平均の三十六％に比べ著しく低い水準となっております。

この原因は、農業立県であるため、①し尿の農地への利用や②戦後本県の公共事業は、道路、河川等に重点が置かれたこと。又③昭和三十年代後半から続いた断続的災害に追

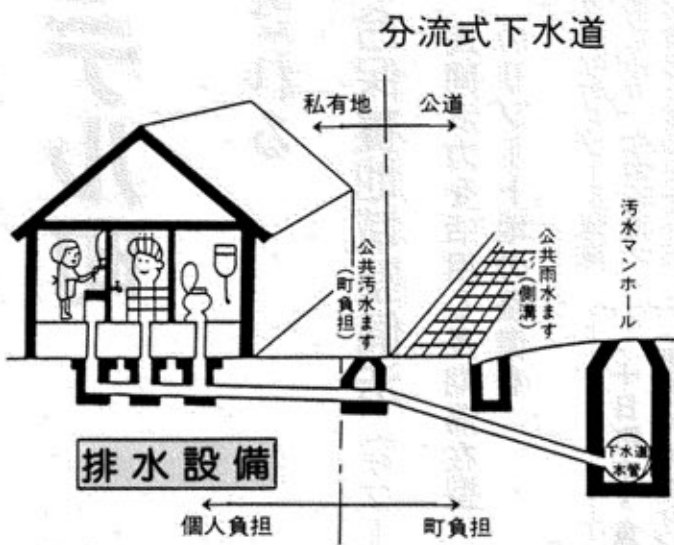
われたこと、④県民の下水道に対する認識が低かったこと等が、下水道整備の遅れた主な理由とされています。

**流域下水道**  
信濃川には、水質汚濁防止に係る環境基準が設定されていますが、河川の水質汚濁防止には、下水道の整備が最も有効です。

県は、信濃川下流域下水道と魚野川流域下水道を計画しており、当町はこの二つの流域にあります。

信濃川下流域下水道は、当流域の五市六町一村を三つの処理区(新潟・新津・長岡)で実施しており、長岡処理区(二市三町)では、昭和五十五年度に着手し、六十年七月からそれぞれ一部処理を開始しています。

魚野川流域下水道は、当流域の四町二村を二つの処理区(六日町・堀之内)で実施しており、(二町二村)は、五十八年度からそれぞれ事業に着手しています。



**町の基本計画 策定の骨子**

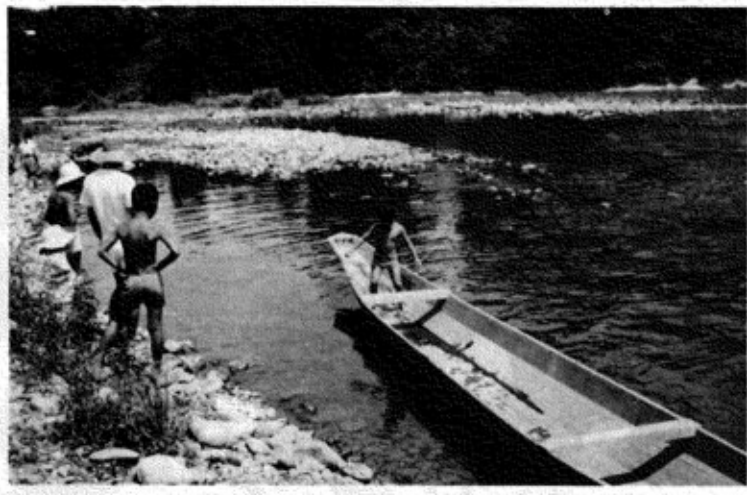
町では、専門家に下水道事業基本計画の策定を委託し、基本計画の骨子を、①町単独処理②信濃川下流域下水道(長岡処理区)③魚野川流域下水道(堀之内処理区)のいずれかの選択と、処理面積、処理人口及び処理水量、処理方式、雨水計画などとしています。

以下、下水道事業着工までの手順を、流域下水道の例で示すと次のようになります。

昭和62年度	基本計画策定委託(62年~63年) ①計画概要の確立
昭和63年度	②単独か、流域下水道かの選択 基本方針の決定
昭和64年度	計画決定、住民への説明会 下水道事業認可申請、下水道事業認可
昭和65年度	下水道工事着手

▲下水道事業の財源は、国の補助金、起債(町の借金)及び一般町費、受益者負担金でまかなうことになります。

# 業スタート 策定に着手!



▲清流 残さなければならぬ大切な自然!

「越後川口インターチェンジ」新潟県のスポーツ観光の核としての「運動公園」及び宿泊、研修や結婚式など多目的に利用できる「サン・ローラ川口」新潟建設労働者研修福祉センター」等の施設があり、

**下水道**

**健康で快適な暮らしの実現 観光、産業の発展へ**

生活水準の向上、生活様式の高齢化とともに、下水道の早期整備が大きく望まれています。

下水道は、健康で快適な暮らしをするための基礎的な公共施設であります。

特に当県は、上越新幹線、関越高速自動車道等により高速交通時代を迎え都会との距離も近くなり大きな発展が期待されています。

その中において、当町には、全国最大規模を誇る「越後川口インターチェンジ」新潟県のスポーツ観光の核としての「運動公園」及び宿泊、研修や結婚式など多目的に利用できる「サン・ローラ川口」新潟建設労働者研修福祉センター」等の施設があり、

又現在は、滞在型「家族旅行村」を建設中。そして高齢化社会へ向けた「生涯学習村」の誘致、更に、総合保養地域整備法に伴う県の「リゾート特定地域」に指定されるなど、大規模なプロジェクトが完成、又は実施、計画されており、観光、産業等が発展するため、の足がかりが着々と進められています。

これらの大型プロジェクトを促進するために下水道は不可欠な施設であらうに、子孫々に贈る大きな財産として整備が急がれております。

**水質汚濁防止 浸水対策に**

また、下水道は、生活排水やし尿及び工場排水などをきれいに処理して放流するので、河川等の水質汚濁防止や大雨が降っても水はけをよくするので、浸水対策にも大いに役割を果すなど、公害をなくすほか、伝染病の予防にも偉力を発揮しています。

**町議会 下水道事業特別委員会**

— 中間報告 —

**基本計画策定が急務**

町下水道事業特別委員会は去る九月二十八日、町議会九月定例会で中間報告を行い、下水道事業を前向きに推進し、基本計画の策定が急務であると報告しました。

同委員会は、下水道事業推進のための調査を行うことを目的として今年の七月二十五日に町議会に設置され、これまでに五回の委員会を開き、町当局からの概要説明や、県との協議を重ねるとともに、先進地視察などを行い、今回の中間報告となったものです。なお、同委員会の委員は、五名の議員で構成されています。

**昭和三十五年 着工を目指し**

町は、去る九月二十八日、開会された町議会九月定例会で、下水道事業計画調査費の補正予算の成立と町下水道事業特別委員会の中間報告を受

# 水と緑の豊かな定住構想モデル町

## 長期滞在型リゾート構想

### 県のリゾート特定地域に指定される

#### 総合保養地域整備法（リゾート法）

#### 民間活力を活用し長期滞在型 のリゾート地の整備を

リエーション施設は、総合保養地域の「一環」として、或は、農山村と総合保養地域を結び核として位置づけ、町は、更に一段の飛躍に取組み、町活性化に向けて、大きく前進しようとしています。

期間は、当面十年間程度を目標としております。  
整備に当たっては、民間事業者の活力と創意・工夫を最大限活用し、特定地域（整備対象地域）十五万haの中に約三千ha以下の重点整備地区を数カ所程度設定するとしていきます。

#### 日本一のインターと

#### 総合運動公園、

#### 家族旅行村を更に

#### 飛躍させ、前進！！

#### 飛躍させ、前進！！

## 交通手段と自然と施設が生かされ 県のリゾート特定地域に指定！

（当町を含む14市町村）

長期滞在型のリゾート地整備構想により、余暇時間の増大や本格的な高齢化社会の到来に備えて、スポーツ、レクリエーション施設、教養文化施設などを、民間活力を最大限に活用し総合的に整備していくというもの。地域雇用効果なども大きく、二十一世紀に向けた地域振興の目玉プロジェクトとされており、このためこ入れとして、総合保養地域整備法が成立したもので

#### 「十日町市・魚沼・東頸城地域リゾート」構想」の

#### 名称を募集中心！！

この地域が日本全国の中でも、有数のリゾート地として親しまれる開発を目指すためにふるって応募ください。

#### 一、名称

十日町市・魚沼・東頸城地域の自然・地理的イメージを生かした名称。

（滋賀県では、「リゾートネックス構想」徳島県では、「ヒューマン・リゾート

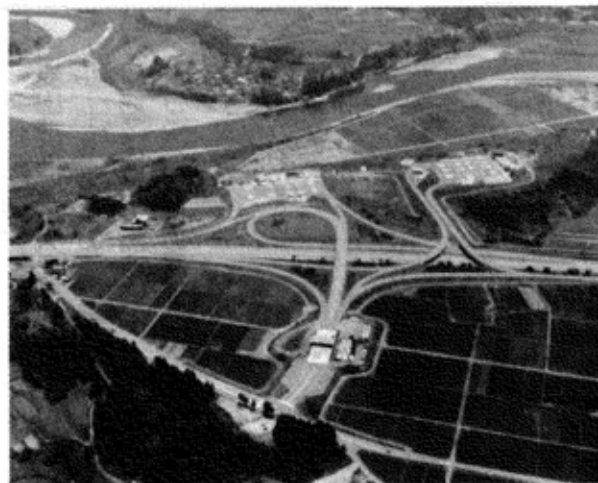
県は十月三日、先の通常国会で成立した総合保養地域整備法（リゾート法）に伴い、当町を含む十日町、魚沼、東頸城の十四市町村を県のリゾート特定地域に指定した。面積は約十六万三千ha。  
県は特定地域の決定に当たり、①首都圏からの到達時間②自然観光資源③居住機能整備④民間企業の進出度⑤土地利用の現況などを中心に置き、特に高速交通網や民間企業の進出度などを考慮して当地域が指定されたもの。

これにより県は、国のリゾート基本方針に基づき、当地域におけるリゾート整備基本構想を策定し、年度内に国の承認を受け事業をスタートさせることとしています。  
同基本方針によると、①整備の対象となる「特定地域」は最大十五万ha②民間事業の参入が整備の条件とし③整備



### ● 高速交通体系の処点

日本一のインターのある町  
越後川口インターチェンジ



### ● 自然に抱かれたスポーツと ロマンのファミリー高原

新潟県スポーツ観光の核の一つ  
中山高原の総合運動公園  
宿泊、研修、結婚式などの多目的施設  
新潟建設労働福祉センター  
サン・ローラ川口  
大型プロジェクト  
滞在型リゾート地目指し  
家族旅行村建設中  
生涯学習村建設計画策定に着手



### ● 大河信濃川、清流魚野川に よって作られた河岸段丘

自然に恵れ、美しい景観



- ト徳島の海と森構想」三重県では、「三重サンベルトゾーン」等）
- 二、応募要件
- ①十日町市・中魚沼（川西町、津南町、中里村）・北魚沼（川口町、堀之内町、小出町）南魚沼（塩沢町、六日町、大和町）、東頸城（安塚町、松代町、松之山町、大島村）に住所のある人。
- ②一人いくつでも可。
- ③官製はがき一枚に名称ひとつと住所、氏名、年令、電話番号をお書きください。
- 三、応募締切  
11月20日（金）
- 四、応募先  
〒948 十日町市千歳町3の3 十日町市役所  
企画調整係宛
- 五、賞金  
入選一点二万円、佳作二点五千元（一点につき）  
六、その他  
同名多数の場合は抽選とします。

田麦山地区に

# 待ちに待ったバス

## おらが生きているうちにバス

越後交通バス時刻表 (田麦山地区 昭和62年11月1日から昭和63年4月30日までの試行運行)

小高→川口駅角→小千谷車庫前行									
小高	山	大谷内	形	前	相川	ヤナ	川口	川口	小千谷
発	発	発	発	発	発	発	校前	駅角	車庫前
7:10	7:13	7:15	7:17	7:18	7:21	7:23	7:26	7:28	7:40
13:15	13:18	13:20	13:22	13:23	13:26	13:28	13:31	13:33	13:45
18:50	18:54	18:56	18:58	19:00	19:01	19:04	19:06	19:10	—

小千谷車庫前→川口駅角→小高行									
小千谷	川口	川口	ヤナ	相川	前	大	形	大谷内	山
車庫前	駅角	校	前	川口	原	大	形	大谷内	山
発	発	発	発	発	発	発	発	発	発
—	6:50	6:52	6:54	6:56	6:59	7:00	7:02	7:05	7:10
—	12:40	12:50	12:52	12:54	12:56	12:59	13:00	13:02	13:10
△ 16:00	△ 16:10	△ 16:12	△ 16:14	△ 16:16	△ 16:19	△ 16:20	△ 16:22	△ 16:25	△ 16:30
—	18:20	18:30	18:32	18:34	18:36	18:39	18:40	18:42	18:50

(注) △印小千谷車庫前発16:00小高行は、土曜・日曜・祝日及び12月31日～1月3日間運休いたします。

**試行の状況を見て 本運行を検討**

今回の試行は、六カ月間とし、この間の利用者の推移を見ながら、町と越後交通(株)と協議することとしており、続行の場合、越後交通(株)は、本行の免許を新たに申請することとなっています。

町は今、路線バスとしての定着化を図るための条件となる利用者の推移に注目しています。なお、この間の運行による赤字が予想され、その一部を町と地区で、路線バス維持協力金として越後交通(株)に各々補助することとしています。

田麦山地区から、定期バスの運行を願う声があがって以来、二十年近くになるといいます。その時その年代の方々が運動をして関係機関に陳情を重ねてまいりました。この度、これら先輩各位の苦勞が実績となり、念願の定期バス運行が、越後交通(株)により田麦山地区に運行されることになりました。



▲試行に向けて試運転する越後交通小千谷営業所のバス(小高地区内)

地理的条件から他では考えられない大きな負担(通勤のための自家用車の購入等)がありますが、長年の念願であった定期バス乗り入れによってその効果もより以上に大きなものであると思います。最後に、路線バスとしての定着化を進めるためにも地区の方々はもとより、他地域の方々からも大いに利用していただきたく願うのであります。

田麦山地区総代 水落佐一郎さん

地区民総意の中で実現した定期バスの運行が、今後どう進展するかは、大きな問題であります。また田麦山の

# 運行が実現

## が通るなんて夢のようだ!!



▲熱心に協議を重ねるバス運行推進協議会のメンバー 田麦山生活改善センターで。

町はこれを受けて、同地区民の長年の夢と熱意にこたえ、越後交通(株)と折衝を重ねてきました。このたび同会社

同地区は、町の中心部から一番遠い所で八・二km(小高部)の所にあり、通勤、通学は、マイカーやバイクを利用しているが、家族は、通院、買物等にタクシーを利用するなどから、バス運行に強い要望を持ち続けてきましたが、同運行に伴い、通院、買物はもちろん、通勤、通学や、ちょっとした用事で町場にかけるにも便が良くなり、加えて高齢化社会が進むなか、バス運行は地区住民の生活環境の改善と地域活性化につながるものとして、地元は大きな喜びと、期待を寄せている。又、現実的な問題として、特に通勤者等の通勤先に於ける、冬期間の駐車場の問題や高校生の下宿等が解消されるなど、その効果は大きいもの

**バス運行アンケート結果 (62年4月)**

主な結果は次のとおり (世帯数185戸、人口898人 62年3月末現在)

- 通勤・通学者数 298人(中学・高校生含む)
- 現在の交通手段は、自家用車等(バイク、自転車含む) 189世帯 (会社の車20世帯 徒歩・その他33世帯)
- バスがないと不便を感じますか。 大いに不便58世帯 不便80世帯 その他19世帯
- バスがあれば利用しますか。 154世帯
- 何に利用しますか。 通勤・通学・買物・通院・日常用事等

**越後交通(株)が路線バス運行**

(十一月一日から来年の四月三十日の六カ月間試行で)

町内の田麦山地区に、十一月一日から来年の四月三十日までの六カ月間、試行により越後交通(株)の路線バスが運行されることになりました。田麦山地区に、バスを通して欲しいという願いが数十年前からありましたが、道路事情や採算面から、路線バス運

行は困難な状況でありました。近年道路改良舗装や砂防、治山等の公共事業による社会資本の整備が進み、同地区の居住環境も飛躍的に改善されてきている中で、同地区では昨年、バス運行実現に向けて部落総代会を中心に、老人クラブ、地区公民館、四十会、若妻会の代表者等によるバス運行推進協議会を設け、町との協議を重ねるとともに、バス運行に伴うアンケート調査を実施するなど、本格的にバス運行の取り組みをしてきました。町はこれを受けて、同地区民の長年の夢と熱意にこたえ、越後交通(株)と折衝を重ねてきました。このたび同会社

において、路線バス運行の免許(臨時)を新潟運輸局に申請、同認可を受け、この十一月一日から六カ月間、一日三往復プラス高校生の通学対策として復路便を設けて正式に

**冬期間における駐車場の悩みや 高校生の下宿も解消**

が、冬期間の通勤方法をマイカーからバスに変える人が相当でてくるものと予想されています。又、地元では、できるだけバスを利用するよう呼びかけています。

田麦山地区にバスを通して、長年の夢と願いが、地区住民の熱意により、ようやく実現の運びとなりました。

小千谷車庫前→川口→田麦山→小高線

# 農業振興祭特集

10月18日(日)

水稲、園芸、畜産、養蚕 ▶  
各部門の優良農家を表彰  
於 農協会館



▲ 当町の名産\*鮎、  
たちまち売り切れ

▼ 手芸展



今年も豊穰!!  
宝船  
お値段はいくら?!



▲ 町内老人クラブによる  
カカシコンクール

▼ 一節太郎さんもモチツキ  
に参加。 右から2人目



▲ 産地直販、値段の安さに思わずニコリ!?



▲ 終日、賑った野菜即売会

# 活力ある豊かな 農業の町づくりをめざして

「活力ある豊かな農業の町づくりをめざして」農業振興祭は十月十八日、今年も町内外者約二千人が訪れ盛大に開催されました。

アトラクション会場となった福祉センターには、大勢の観客が集まり、一節太郎さんの歌謡ショーに酔い、錦鯉会場の役場庁舎前では、見事な泳ぐ宝石の観賞に浸り、秋深まる一日を皆んなで楽しみました。

同振興祭は、今年で第十二回目を迎えた。恒例のモチツキ大会をはじめ、野菜の即売会、ふるさと料理工夫展等に加えて、新たに今年は、老人クラブによる手作りの「カカシコンクール」や農家組合対抗の「綱引き大会」も登場し、又太公望有志により、会場のすぐそばを流れる魚野川で取れた地鮎を炭火で焼き、即売するなど例年にない盛り上がりを見せ、終日賑った。



▲ 綿アメ無料サービス



▲ あじ味をするお母さんたち

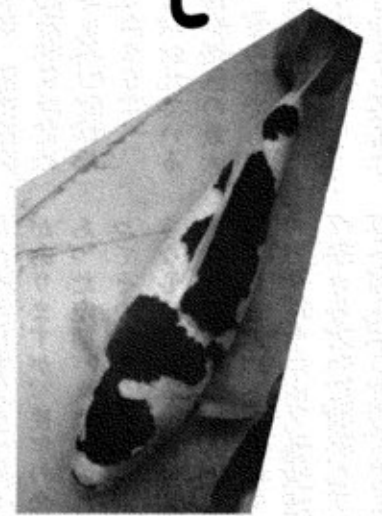
ふるさと料理

工夫展(おふくろの味)  
農協婦人部



▲ 福祉センター体育館をいっぱいを使って

農家組合対抗  
綱引き大会



### ふるさと友好都市記念樹

## 狛江市の木「イチヨウ」を植樹

#### 運動公園テニスコート芝生広場に

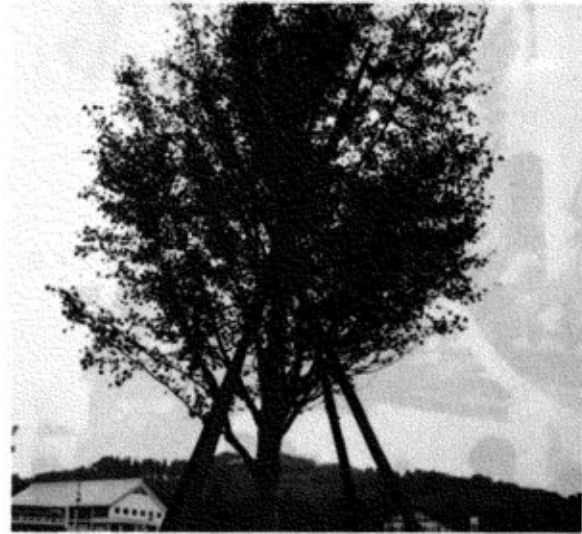
去る七月二十五日調印された、当町と狛江市との「ふるさと友好都市」提携を記念して十月十八日、狛江市の木「イチヨウ」を、関係者の見守るなか、狛江市大久保助役と青柳町長の手により、運動公園のテニスコート芝生広場に植樹されました。なお記念樹は同提携を記念してそれぞれの両市町の木を贈呈したもので、当町の木「サクラ」はこの十一月八日に狛江市で植樹される予定です。



関係者が見守る中、植樹する狛江市長代理 大久保助役さん 10/18 運動公園にて

#### イチヨウの語源

イチヨウ（銀杏、公孫樹、鴨脚）は、中国原産で、日本には朝鮮を経て九州に伝来したと言われている。成長が早く耐寒耐暑性があり、庭園樹や公園樹、盆栽などとして、広く植栽されている。イチヨウの語源は、明治時



立派な「イチヨウ」の木が運動公園に植樹されました。

代に大槻文彦が「大言海」を編集したとき、初めて「鴨脚」（漢名の宋音「やーちやお」が「いちやう」のものであることを確かめ、「ぎんなん」が銀杏の宋音「ぎんあん」の音便であることもその時に発見された。「ぎんなん」は、イチヨウの種子をいう。イチヨウは雌雄異株であるので、種子は雌木にしかできない。

銀杏は、食用に、又薬用に強壯剤として、夜尿症、肺結核、ぜんそくなどに用いる。「イチヨウ」の木のようにすくすく育ち大きく両市町が発展することを期待します。

### 農業共済事業の功績で連合会長表彰

渡辺 徳雄さん(竹田) 関 弘蔵さん(中新田)

農業共済組合連合会は十月二十三日、農業災害補償法施行四十周年記念共済功績者表彰を行い、当町からは、小千谷地域農業共済組合損害評価委員の渡辺徳雄さん、関弘蔵さんが連合会長表彰を受賞しました。



関 弘蔵さん 渡辺 徳雄さん

二人とも損害評価委員として長年にわたり、農業共済事業の適正な運営と伸展に寄与した功績が認められ、今回表彰されたものです。なお、二人とも十六年間務められ現在も同委員として活躍中。

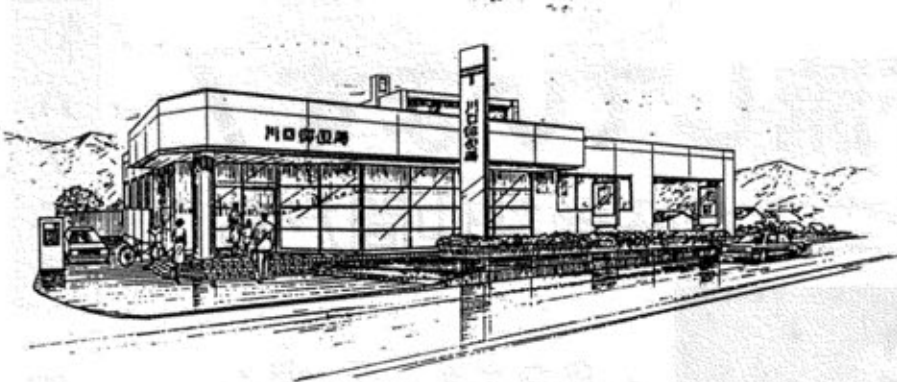
## 川口郵便局新築移転

### 来年八月完成目指し建設

川口郵便局は、局舎の新築移転計画に基づき準備を進めてきたが、国道十七号線沿い福祉センター前の所に移転が

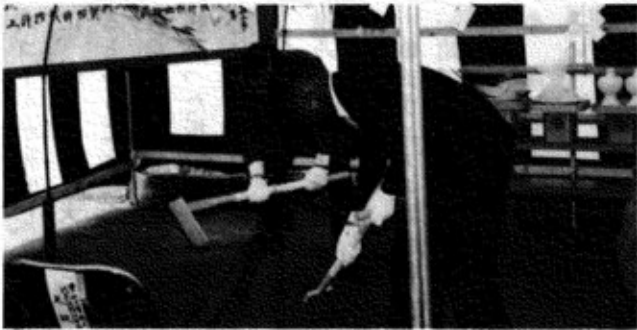
決まり、去る九月二十七日、局舎新築工事を発注。来年の八月末完成(予定)を目指し建設が行われています。

設置も可能。④内部的に、車発着口等にピロティの設置(克雪対策)等があげられ、利用者に対しよりよいサービスの向上と親しまれる郵便局として、その完成が今から待ち望まれています。



▲完成予想図 完成後はスマートな局舎として生まれ変わる

- コミュニティセンターとして、
- 各種作品の掲示
- お客さんロビーの拡充(現在の三倍)
- ② ニューメディア対策として情報処理機器(コンピュータ)の



▲10/14 地鎮祭 工事の無事を祈る

### 明治七年

#### 「川口郵便取扱所」として開業

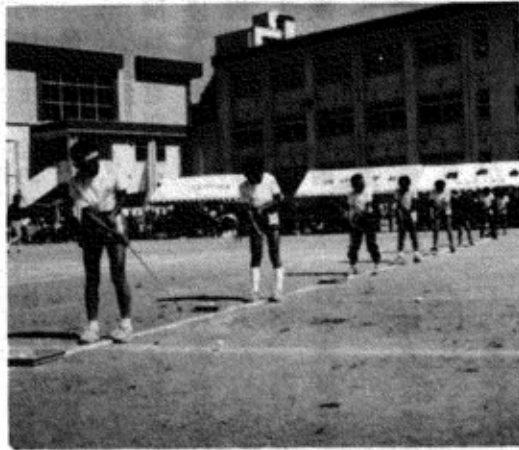
川口郵便局は、明治七年、「川口郵便取扱所」として開業。幾多の変遷を経て、昭和三十七年、国営の郵便局として現在に至る。

#### 主なできごと

明治7.12.1	郵便の引受及び集配業務開始
18.10.1	郵便貯金業務開始
26.4.16	郵便為替業務開始
29.12.16	郵便小包業務開始
32.4.1	外国為替業務開始
39.3.	郵便振替業務開始
40.12.1	電信業務(内国和文)開始
大正5.10.	簡易保険業務開始
14.11.11	電話業務(公衆通話)開始
15.10.	郵便年金業務開始
昭和4.5.11	電話交換(役場専用)業務開始
7.10.1	同 (一般)業務開始
16.2.1	3等郵便局から特定郵便局に改称される
24.11.14	お年玉つき年賀葉書発売開始
25.8.1	田麦山簡易郵便局開設
43.7.1	郵便番号制度開始
46.10.1	鉄道受渡便の改廃(深夜便の受渡廃止)
57.10.12	為替貯金業務オンライン開始
60.2.28	簡易保険業務オンライン開始
62.7.1	電子郵便用ファクシミリ取扱開始

資料提供「川口郵便局「局務概要」から

### カメラレポート



◆ ナイスバーディ……じゃなくて  
家族対抗ホールインワンリレーです。  
なかなかのフォーム？



親子レース ▲おいしい実をとってね  
▼動物村のデカバン競争



### 第13回 西川口地区大運動会

於川口小グラウンド

健康と交通安全みんなの願いを  
スローガンに！



▲当地区館の新名物 オリンピック  
流の聖火台に赤々と燃ゆる！

ぬけるような秋空の下十月十一日、町内各地で運動会が繰り広げられ、スポーツの秋を楽しんだ。

第十三回を迎えた西川口地区大運動会（地区館主催）では、健康と交通安全みんなの願いを大会スローガンに地区民が総参加。五部対抗で行われ、高齢者による「みんなで守ろう交通安全リレー」や家族ぐるみの「ホ

ールインワンリレー」などユニークな種目を取り入れ、終日、なかなか熱戦が繰り広げられた。

結果は次の通り

優勝 岩出原・山ノ相川  
準優勝 川岸



▲持久走 大人と子供一緒に…



▲せています 小学生スプーンレース…勝者は？

## 実りの秋そして…… スポーツの秋各地でいい汗流す！！ (十月連休に拾う)

小学生と地区の合同による  
田麦山地区大運動会  
10/11於田麦山小グラウンド

### スポーツの町宣言

# いい汗流しています！ めしよりテニスが好き仲間たち

### 軟式テニス



▲大きいラケットにボールが当たらないで悩んだことも  
でも、今は上達しました。テニスクラブの仲間たち  
於10/21 川口中体育館

テニスクラブに  
入りませんか  
お待ちしております

社会体育の一環として、古田島福之（古田島新聞店）さんを指導者に、軟式テニス教室が開設されました。

初めての人が多くて、こんな大きなラケットに、どうしてボールが当たらないのかと悩みながらも、皆さんで一生懸命教室に通いました。

そんな時、運動公園にテニ

スコートが完成し、その記念に、町民テニス大会を開催するということになりました。

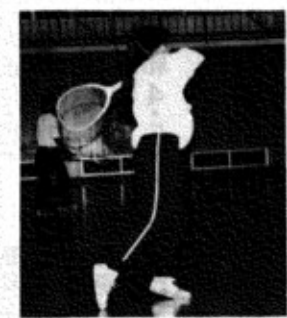
大会は盛大に行われ大成功に終わった折に古田島さんを中心に、川口軟式テニスクラブを作ろうということに話しが進み、テニス教室のメンバーを母体に結成されました。

軟式テニスの試合は、二人一組ですので、後衛の打ったボールが、味方の前衛のお尻や、頭に当たったりして「わるい、……」といいながら愉快にやっています。

### わがスポーツクラブ 紹介

### 川口軟式テニスクラブ

- Q クラブ、サークルの設立は？  
A 昭和55年10月です。
- Q 設立の動機は？  
A 町民テニス大会を契機に。
- Q 会員数は？ またそのメンバー構成は？  
(小学生、中学生、一般、婦人)  
A 10名、中学生、一般(男・女)です。
- Q 練習日、時間は？ 練習会場は？  
A 毎週火曜日 PM7:30~9:30 川口中体育館で。
- Q いま、クラブ、サークルの活動で目標にしていることは？  
A 普段の運動不足の解消とほどよい汗を流すこと。
- Q クラブ、サークルのメンバーの技術の状況は？  
A 自分達はかなりの所についているつもり？
- Q 最後にクラブ、サークルのPRを！  
A 運動量としては適度ですので、年齢を問わずできますので是非参加を。



▲技術も向上、ラリーが長く



▲練習前の素振り、なかなかのもの？

町長さんこんにちは。  
 私は、泉水小学校トランペットクラブの5年 綱 貴子です。  
 フルネットを、プレゼントしていただきありがとうございます。  
 今日(10月2日)金子先生に見せてもらい  
 ぶいてみました。私は、アレルギー性鼻炎で  
 トランペットをぶくのがとても苦しいです。でも、  
 トランペットをぶけるのがとても楽しいです。  
 フルネットをぶいてみたらずいらくにぶけました。  
 お友達と仲良くふくことになりました。  
 他の楽器と同じように、お友達と大切にし  
 いっしょけんめい練習をして文化祭まで  
 うまくふけるようになると思います。  
 どうもありがとうございました。

トランペットクラブの人たちみんなが  
 よろこんでいました。



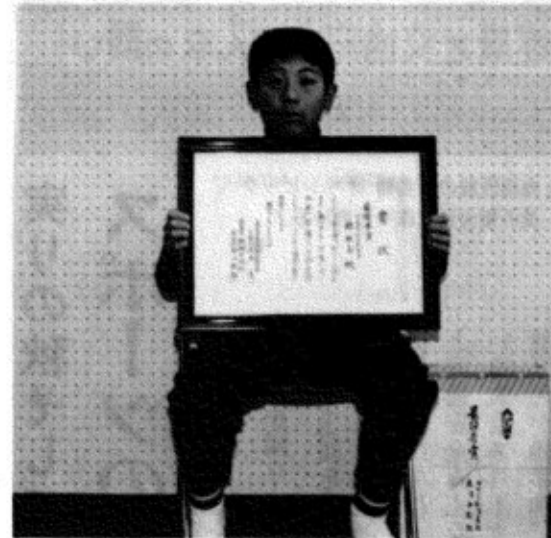
PEANUTS Characters © 1954, 1963 United Feature Syndicate, Inc.



綱 貴子さん  
(泉水小五年生)

かわいい、便利  
 お友達と仲よく楽しく  
 うまくふけることが  
 がんばってね!!

## わたしの住む町 絵のコンクールで



最優秀賞に輝いた関君  
 おめでとうございます

## 最優秀賞を獲得!

川口小五年 関 雅志君

わたしの住むまち絵のコンクールで、県内の二〇六校、五、六〇〇点のうちから、川口小学校の関雅志君が、五年生の部で最優秀賞を獲得、山田雅久君も銅賞に入賞しました。子供たちに自分の住むまちの行事や風景を自由に描いてもらい、ふるさとを見直すきっかけをつくろうという目的のこのコンクールは、N T T新潟支社と新潟日報社が開催したもので、緊張した面持ちで表彰式にお父さんと二人で出席し、最優秀賞は、県知事賞、県教育長賞などの特別賞につぐ立派なもの。雅志君の絵は、川口あり太鼓で自分が太鼓をたたいている姿を描いたもので、太鼓たたきに集中している表情がよく描かれています。雅志君は、新潟市での表彰式にお父さんと二人で出席し、緊張した面持ちで表彰状を受け取っていました。雅志君の絵は新潟市内で展示され、テレフォン・カードに使われたり、カレンダーにして各小学校に配布されています。

## 木沢小学校に 広井文庫誕生

木沢に生まれ木沢で育ち、今は京都市で余生を送っておられる広井邦政さん(85歳)が、自分の母校の子供たちへとたくさんのお書を寄贈され、木沢小学校では「広井文庫」と名付けて広井さんのご厚志を永く残すことにし、子供たちも喜んで利用しています。広井さんは図書のほか電子コピー機も寄贈されており、町は広井さんの故郷を愛する気持ち、教育を尊ぶ心に対し



▲ありがとうございました。大喜びの子供たち(木沢小)

町長名で感謝状を贈りました。

## 川口小学校25周年を記念して P T Aがピアノを寄贈



▲贈られた立派なたて型ピアノを弾く川口小児童

川口小学校のP T Aが、同校の統合二十五周年を記念して、このほど立派なたて型ピアノを寄贈しました。同校P T Aは、昨年からの計画をたて、バザーや廃品回収などを行いその収益金で購入したものです。川口小学校では、十月二十五日の文化祭にピアノ開きをして、感謝の気持ちをこめて披露しました。また、町もこれに答えて、同校の鼓笛隊に金管楽器を加えてトランペット隊にするようにと、先般トランペットとトロンボーンを購入しました。これはさらに年次計画で充実する予定になっています。

## ヤング紹介 ⑤



川口5  
 宮 雅子

## スポーツマン あふれる情熱と温かい心の持主

- |                 |                        |                      |  |
|-----------------|------------------------|----------------------|--|
| Q 趣味は何んでしょうか。   | A スポーツと〇〇〇             | Q いちばん嫌いなのは?         | A じめじめした日                                      |
| Q 休日は何をしていますか。  | A 友達と遊んだり…あとは内緒        | Q 将来の夢を一言どうぞ         | A 幸せであたたかい家庭をつくることかな!?                         |
| Q 理想の異性像は?      | A 優しくて気持ちの大きな人。        | Q 川口町が都会よりよいと思うところは? | A 朝、鳥のさえずりで目が覚められること。                          |
| Q 若さの証明とは何んですか。 | A 何でも挑戦し、失敗してもくじけないこと。 | Q 最後に自己PRを!          | A 私は来年こそバレーボールの大会で、全国大会に行きます。みなさん応援して下さい。よろしく! |
| Q 今の仕事の満足度は?    | A 80%くらいかな。            |                      |  |
| Q 町への要望は?       | A 別にありません。             |                      |  |
| Q 好きなことばは?      | A 協調性                  |                      |  |



# 里の雪トピアフェア

11月14日(土) 午前10時～午後5時まで

11月15日(日) 午前10時～午後5時まで

## 新潟県克雪総合普及展開催

### ゆき・越後の冬を快適にをテーマに

#### ◆主催◆

新潟県克雪総合普及事業実行委員会 (新潟県・長岡市・建設省北陸地方建設局他7関係各種団体)

長岡市厚生会館、長岡ニュータウン、長岡文化会館を会場にくりひろげられます。

是非参加してください。

新潟県は、我が国屈指の豪雪県であり、毎年4ヵ月以上の長期間にわたり、雪との闘いを強いられてきました。

しかし、近年雪の障害を克服するとともに、雪を資源として積極的に活用することにより、豊かで活力ある郷土を創造しようとする意欲が高まり、さまざまな雪対策が展開されています。

雪対策は、行政や関係機関が長期的、総合的に推進するとともに、県民一人ひとりが自らの問題として取り組んでいかなければなりません。そこで、「新潟県克雪総合普及展」を開催し、行政と住民が一体となって雪に強い郷土づくりをめざそうとするものです。

#### ◆会場◆

##### ■長岡市厚生会館

- 専門家による克雪相談 (克雪住宅、税、法律、雪なんでも相談)
  - 克雪対策の現状等の紹介
  - 克雪・利雪技術等の展示
- 克雪住宅関連30社、除排雪・防雪関連12社  
小型除雪機械関連13社、利雪・生活関連4社

##### ■長岡ニュータウン

- 克雪住宅、雪に強いまちづくり、大型除雪機械の展示

##### ■長岡文化会館

- 研究発表 11月14日(土)13:30～14:30

「負けるな雪に、みんなの知恵で」  
小千谷市立塩谷小学校児童

「雪は友だち、三葉の子の雪祭り」  
長岡市立阪之上小学校児童

- 記念講演 11月14日(土)14:30～16:00

「私の白の世界 雪国」  
富岡惣一郎氏 (画家、上越市出身)

# 郷土の歴史を綴る

(郷土歴史愛好家 佐藤 栄氏)

## 町制施行当時を振り返って

ふるきをたずねて 新しきを知る

### 温故知新(四)

前回に記したように、昭和三十年代前半は、戦後の後遺症から立ち直り、前時代的生活から順次に脱皮するころであった。そのころの内外情勢はどうであったらうか。

#### 内外の情勢

オリンピック東京大会  
ソ連月ロケット打上げ

生活に一応の安定をみると人や物資の流通が盛んになり、上越線の複線化や国道の整備が真剣に語られはじめていた。

昭和三十三年、新潟市に北陸地方建設局が開局し、雪国の治山治水、道路網の拡充整備がはじまった。

政治面では、在日朝鮮人の北朝鮮帰還が昭和三十四年十二月からはじまり、以後、毎日北朝鮮への引き上げ列車が

新潟港へ向った。翌三十五年一月、日米新安保条約が調印され、六月十九日発効となった。

この条約には参否論が激突し、都心では歴史に残るような闘争が起った。

四年後に迎えることになっていたオリンピック東京大会を控え、各分野で建設の植音が響き、政府は、九月五日「所得増計画」を発表した。

巷で「ありがたや節」という流行歌が歌われたのもこのころではなかったか。

昭和三十四年一月、ソ連が宇宙ロケットを打ち上げるとアメリカも負けじと三月に人工衛星を打ち上げた。以後、両国は競って宇宙開発をすすめた。他の先進国もこの分野に多額の研究費を投入して、「宇宙の謎解き」に挑戦した。



▶新潟国体の旗リレー

宇宙への研究と実践が、われわれの前に具体的に示されたのが昭和三十年代であり、現在の資源探査、気象、通信等各衛星の先きがけの時代であった。

## 町内のでき事

さて、この様な昭和三十年代前半を経て、町内における三十年代後半からはどうであったらうか、主なでき事をら列してみよう。

(続く)

年次	主なでき事
昭和三九	新潟国体の旗リレー
〃	新潟地震発生
〃	新潟地震で川口祭りの花火とりやめ、商工会は義援金を被害者へ
〃	オリンピック聖火リレー、当町通過
昭和四〇	国道十七号線改良工事、和南津橋を残して八郎場中山完成
〃	川口小学校二学期から完全給食
昭和四一	上越線複線化により川合神社々殿移転竣工
〃	十八番頂上にテレビ中継所できる
〃	川口農協有線放送電話事業開始(九〇二戸)
〃	国道十七号線 中山―天納完成
〃	川岸町にゴミ処理場完成 新設
〃	東部保育所完成(現在の末広荘)
昭和四二	上越線複線化完成
〃	国道十七号線、和南津橋完成、小出―長岡間開通
〃	県蚕業試験場誘致きまる
〃	町道舗装はじまる(寺裏線六五〇メートル)
〃	大型雪上車による圧雪がはじまる



## 渡り鳥

渡り鳥という、秋空に隊列を組んで、竿になつたり鉤になつたりして渡る雁や、空が暗くなるほどの大群で飛来するツブミを思い出す方もあると思います。

に寄る旅鳥(シギ類、チドリ類)があります。また迷鳥といつて、本来、日本には来ないはずの鳥が何かの拍子で迷い込むこともあります。渡り鳥のなかには赤道を超えて一万キロもの旅をするものも多く、特にキョクアジサイという鳥は、北極圏から南極まで一万八千キロもの旅をするそうです。

日本で見られる鳥の約八五%が渡り鳥です。渡り鳥には、夏を日本で過ごし夏鳥(ツバメ、カッコウなど)、冬を日本で過ごし冬鳥(ツブミ、雁、白鳥など)のほか、移動の途中に日本



十一月の行事には「パートタイム労働者(一曰十白)」があります。昭和五十九年に出版された労働対策要綱の周知を図るための月間です。ちなみに、雇用者中に占めるパートタイムの割合は、男子一・一%対女子は三・七%に倍以上になっています。